

タンパク質結晶化生成ツール



JCB-SGT-DX

特長 1
脱酸素での結晶化

特長 2
緩和な結晶化条件

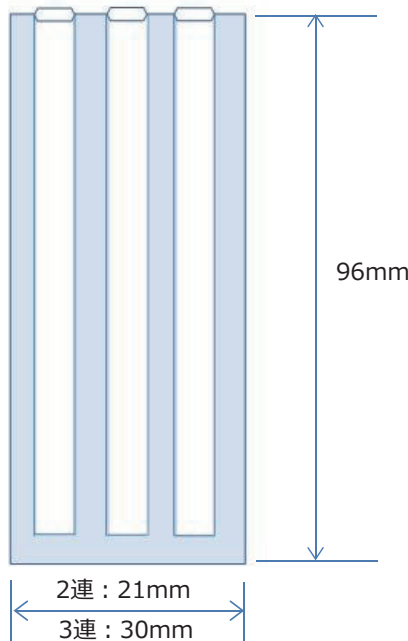
特長 3
簡単な操作

特長 4
ソーキング可能

詳細

JCB-SGT-DXは、酸化されやすいタンパク質試料向けの液々拡散法によるタンパク質結晶化ツールです。

【 JCB-SGT-DX本体図 】



特長

- JCB-SGT-DXは酸素吸収機能を持つフィルム*を用いています。酸化されやすいタンパク質試料等を、酸化から守り脱酸素条件下で結晶化実験を行えます。
- ゲルチューブを介して結晶化試薬がキャピラリー内でゆっくと拡散するため、緩和な結晶化条件が実現できます。（拡散の時間経過の予測は別売りソフトをご利用ください。）
- ゲルチューブはキャピラリーに簡単に装着して使用できるため、試料の充填が簡単です。
- キャピラリーをゲルチューブごと別のリザーバ溶液に移し替えが可能なので結晶化条件の探索やソーキングが簡単です。
※鉄系酸素吸収剤を含むフィルムで、溶存酸素濃度0.1ppm以下を実現

仕様

製品コード	製品名/内訳	価格	
		(税抜)	(税込)
CRT440	JCB-SGT-DX JCB-SGT3連・2連各1個付	¥27,600	¥30,360

※ 宇宙規格品につきましては別途お問合せ下さい。

【開発・販売元】

株式会社 コンフォーカルサイエンス

〒158-0081 東京都世田谷区深沢5-14-15
TEL: 03-3864-6606 FAX: 03-6411-6261
http://www.confsci.co.jp/ E-mail : info@confsci.co.jp



【販売代理店】

株式会社 池田理化

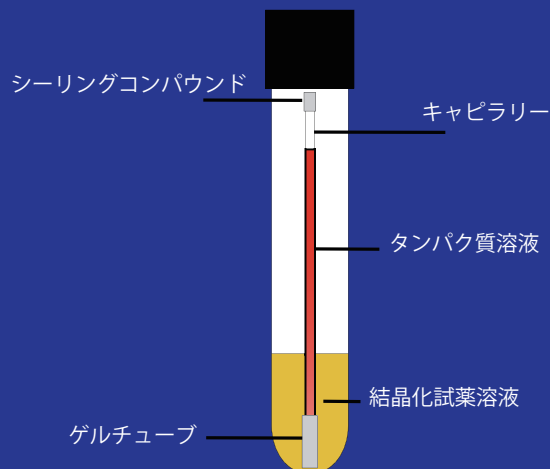
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-8-6 神田KSビル
TEL : 03 (5256) 1830 FAX : 03 (5256) 1899
E-mail: seiyaku@ikedarika.co.jp

カウンターディフュージョン法

カウンターディフュージョン法とはキャピラリー中の蛋白質試料と、結晶化試薬を相互に拡散させる結晶化方法です。^{1), 2)}

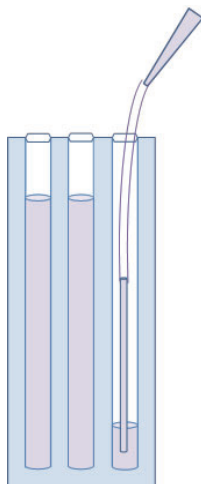
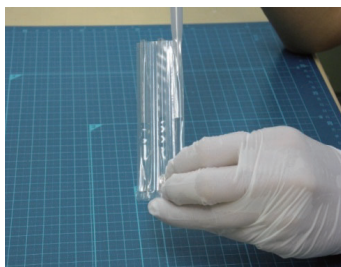
タンパク質分子はキャピラリーの中から外に、結晶化試薬分子はキャピラリーの外から中に拡散することにより、キャピラリー内で濃度勾配を形成します。キャピラリー内には経時的に広範囲の濃度条件が実現し、結晶生成条件に到達したところから結晶生成が始まります。このため、外液の結晶化試薬濃度を高めに設定することで、容易に広範囲の結晶生成条件を探索できます。つまり、クリスタルチューブキットでは、**1本のキャピラリーの中で無限の結晶化条件をスクリーニングしてることになります。**

- 1) Garcia-Ruiz, J.M., Moreno, A.: *Acta Cryst.*, D50, 484-490(1994)
 2) McPherson A., *Crystallization of Biological Macromolecules*, Cold Spring Harbor Lab. Press (1999)

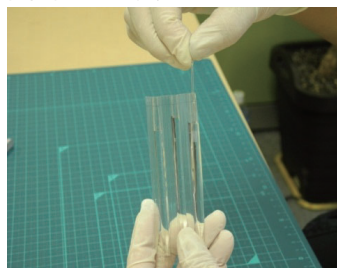


セットアップ方法

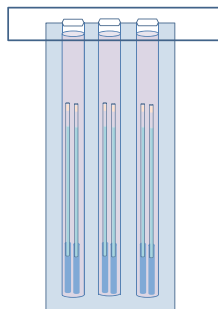
1. JCB-SGT-DX を収納袋から取り出し、ピペットマン等で結晶化試薬を各区画に 1000 μ l ずつ入れる。



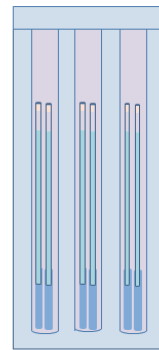
2. キャピラリーにタンパク質試料を充填し、ゲルチューブを装着し、キャピラリー上端をシーリングコンパウンドで封じて、各区画に 2 本ずつ入れる。



3. 3 か所 (2 か所) まとめてシーラーで1度封止する。溢れた溶液をふき取ってから、再度シーラーで封止する。



4. 完成



5. その他：JCB-SGT-DX は、そのままでも脱酸素条件下で結晶化実験を行えますが、より長期間の実験では、さらに弊社製品 C-Bag に収納されることをお勧めします。

■MB2004-CRT601 C-Bag S ■MB2004-CRT602 C-Bag L